

概要資料

2016 年 4 月 26 日

1. 基本情報

- (1) 案件名：課題別研修「中央アジア・コーカサス地域総合防災行政」
(Comprehensive Disaster Management for Central Asia and Caucasus)
- (2) 対象国：アルメニア、アゼルバイジャン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン
- (3) 参加者：トルクメニスタン国防省職員 1 名を含計 16 名
- (4) 実施期間：平成 27 年 6 月 22 日～8 月 1 日
- (5) 事業の要約：防災及び災害軽減を主管する中央省庁及び地方自治体防災分野の課題解決能力を強化するとともに、当該地域内の防災担当機関間のネットワーク形成が促進されることを目的とするもの。

2. 事業の背景と必要性

(1) 背景

我が国同様に自然災害が多発する中央アジア・コーカサス地域諸国において、防災分野における行政能力を強化し、国、コミュニティの災害による人命及び社会的・経済的・環境的資産の損失を軽減すること、また、同地域内における域内協力・ネットワークを強化することは喫緊の課題。

今般、本研修に参加したトルクメニスタン研修員は、同国国防省非常事態・救助活動総局民間防衛・救助活動局救助活動課の課長である。同総局は、災害前のリスク軽減施策や防災教育の実施、災害時の応急対応、復旧・復興等を所掌業務とし、またトルクメニスタン国防災に関する省庁や地方自治体等のステークホルダーの取り纏めを行う機関として、重要な役割を担っている。

(2) 我が国の協力方針等との位置付け

本案件の実施は、我が国が重視する各国の国内政策における「防災の主流化」を促進し、東日本大震災その他の自然災害を通じて得られた日本の防災・復興の知見を広く発信・共有することにも貢献する。

また、我が国は、トルクメニスタン国の政治的安定と持続的な発展を重視しており、同国の対外的開放を促しつつ、同国と中央アジアの地域協力に資する開発計画を支援していくことを基本方針とし、(1) 防災を含む基礎社会サービス、(2) 環境、(3) 農業を支援の重点分野としている。本案件の実施は、上記(1)に該当する。

3. 事業概要

- ① 事業の目的：対象国において防災分野における行政能力が強化され、国、コミュニティの災害による人命及び社会的・経済的・環境的資産の損失が軽減されること。また、同地域内における域内協力・ネットワークが強化されると同時に、参加者が、兵庫行動枠組（HFA）の優先行動及び仙台防災枠組（SFDRR）に沿って自国の現状と課題を分析した上で、本邦研修を通じて所属機関における防災体制の改善策を策定することを目的とする。
- ② 事業内容：本邦研修を通じて所属機関における防災体制の改善策を策定することを目指し、以下に関する研修を行う。
 - ・日本の防災行政（中央政府、県、市）、法制度・体制の歩み
 - ・総合防災情報システム、早期警報システム
 - ・災害研究、予測関連施設、兵庫県の災害訓練施設、災害マネジメント拠点の視察、風水害対策の現地視察
 - ・兵庫県、神戸市による市民向け啓発活動
 - ・災害に強い都市計画、公共施設の耐震化
 - ・上記の講義、視察を経て、HFA 及び SFDRR に沿ったアクションプランの作成を行う。

以 上